
Ⅱ. 室蘭港・・・みなとオアシス室蘭運営協議会 「みなとピアノ」設置による賑わい創出

◆実施日時、場所

令和3年4月11日（日）：室蘭港フェリーターミナル

令和4年5月15日（土）：みなとオアシス「みたら室蘭」

令和4年6月25日（土）、26日（日）：みなとオアシス「みたら室蘭」

◆ 実施内容

当初、令和2年度の実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症により客船入港がキャンセルとなったため、客船入港と連携した実施はできなかった。「みなとピアノ」は、令和3年3月、室蘭港の主要な港湾施設であり多くの人が集まる交流場所の室蘭港フェリーターミナルに設置した。また、令和3年4月11日には、みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭の主催で「みなとピアノ」設置記念コンサートを開催し、約150人が参加した。設置記念コンサートの開催にあたっては、みなとオアシス室蘭運営協議会が会場設営や新聞社への報道等、運営・広報スタッフとして支援を行っている。室蘭港やフェリーを眺めながら、音楽を通じた港の賑わいを創出していた「みなとピアノ」だったが、令和4年1月末をもってフェリー航路の休止に伴いフェリーターミナルは閉鎖となった。その後、「みなとピアノ」の移設先を検討し、令和4年3月、みなとオアシス室蘭の代表施設である「みたら室蘭」に移設した。みなとオアシス「みたら室蘭」は道の駅でもあることから、市民はもちろん観光客らが気軽に訪れ、港に関心を持ってもらうとともに港の賑わい創出や「みなとオアシス」の知名度向上に寄与するものとなった。

また、令和4年5月15日（日）には、「みたら室蘭」の近隣に位置する祝津絵鞆地区クルーズ船等受入岸壁にクルーズ船「ぱしふいっくびいなす」が寄港した。これにあわせて、クルーズ船の乗客や見学者へ「みなとピアノ」の周知活動を行った。岸壁から「みたら室蘭」へは徒歩で来館可能な距離であるため、「みたら室蘭」を訪れて「みなとピアノ」を演奏している様子も見られた。



▲みなとピアノ 室蘭港フェリーターミナル

また、令和4年6月25日（土）、26日（日）には、室蘭港開港150年・市制施行100年を記念し、Sea級グルメをPRするとともに港を中心とした地域の賑わい創出を目的に、「みたら室蘭」に隣接する臨海公園で“みなとオアシス Sea級グルメ北海道大会 in 室蘭”を開催した。みなとオアシス室蘭運営協議会の構成団体で実行委員会を組織して主催した今大会は、Sea級グルメを「食べる」ことはもちろんだが、海で「遊ぶ」、海を「学ぶ」という3つをコンセプトに行った。北海道内7港、岩手県宮古港のみなとオアシスから出店いただいたほか、地元の室蘭港からは、みなとオアシス室蘭運営協議会の構成団体等から5店舗の計13店舗のSea級グルメが出店された。また、ステージでは、各みなとオアシスの紹介やSea級グルメのPRなどを行い、「みなとオアシス」「Sea級グルメ」を広く認知してもらう機会となった。

室蘭市内ではコロナ後初となる大規模イベントであったことから、2日間で目標を大きく上回る約1万6千人が来場し、室蘭港が大いに賑わった。

また、本大会にあわせて国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 室蘭港湾事務所が、港湾事業への理解や港に親しみを深めることを目的に港湾の役割・機能等を紹介する「港湾の役割パネル展」を「みなとピアノ」の横で実施したので、これらイベント実施にあわせて「みなとピアノ」の周知活動を行うとともに、「みなとピアノ」を訪れ演奏するなど、多数の利用があった。

◆ 感想

「みなとピアノ」は、地元新聞社の報道や市ホームページでの周知等もあり、日常的に利用されている。加えて、今後は客船の観光ツアー行程に「みたら室蘭」を組み込んでもらうよう要請し、これにより来港者が「みなとピアノ」にも訪れ演奏することで、音楽を通じた港の賑わいを創出し、より一層みなとオアシスのPRに寄与するものと考えられる。



▲みなとオアシス Sea級グルメ北海道大会 会場



▲みなとオアシス Sea級グルメ大会来場者の利用